



Sagami Women's University

後援会会報

September.2022 No.55



目次

後援会会長からのご挨拶、2022年度役員選出 ……………	1	2022年度収支予算書、2022年度事業計画 ……………	5-6
2022年度「教育懇談会」開催報告 ……………	2	大学だより ……………	7~14
定期総会（書面審議）開催報告、2021年度事業報告 ……………	3	学長挨拶／学科長・研究科長挨拶／新任教員紹介／相生祭イベント実施について／会員の住所変更について／近況報告／就職状況報告／「就職懇談会オンライン」開催のお知らせ／2021年度進路決定状況	
2021年度収支決算書 ……………	4		

後援会会長からのご挨拶

2022年度後援会会長 小松 薫

後援会会長に就任して

会員の皆様には、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。このたび、後援会会長に就任致しました小松と申します。微力ではありますが、保証人代表として、学生のより良い環境作りに尽力したいと思っております。皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

後援会は、入学と同時に保証人の皆様全員入会されます。皆様からの会費で運営されており、今年度は15人の役員で活動が始まっています。主な活動は、教育懇談会や就職懇談会オンラインの主催、定期総会、相生祭でのイベント、会報の発行、その他学生の学習支援、課外活動支援、就職支援や地域活動支援、災害対策の他、顧問である学長をはじめ副学長、学部長、短期大学部長との年4回の会議等です。

コロナ禍で学生達の生活が制限される中、後援会も昨年度から活動を見直しています。教育懇談会や就職懇談会にオンラインを導入したり、定期総会を書面審議で電子表決として開催する等です。会報も紙媒体からウェブ配信に移行します。また、ホームページのり

ニューアルも行いました。

コロナ対策として、大学拠点接種での学生のワクチン接種費用一部負担、空気清浄機やサーキュレーターの設置等の支援も行いました。

今後はさらに、後援会が学生の活動をどのように支援しているかを広めていきたいと考えています。学生からの意見や要望を集めるなど、学生発案による後援会のPR活動の企画・実施も検討中です。

これからも見直しや改革を進めながら、学生支援に努めたいと思います。どうぞ一年間よろしくお願い申し上げます。



… 2022年度役員選出 …

会長：小松 薫 副会長：丸川 真一、田崎 朋子
 常任理事（総務部・事業部・会計部担当）：渡邊 知佳
 理事：永井 浩之、水田 君江、澤口 淳一、齊藤 千鶴、豊澤 澄絵、若菜 明美、川上 智裕、松井 巳知子、増田 理香子
 監事：塚本 早苗、秋山 厚子
 役員の任期は、2022年度定期総会終了後から2023年度定期総会終了時まで。

2022年度「教育懇談会」開催報告

コロナ禍により、対面での行事が制限される中、後援会では、会員の皆様と大学の先生方が直接懇談できる機会を確保すべく、昨年度同様に、学科毎の懇談会及び教育個別面談については、十分な感染防止対策をとった上で、対面形式で開催し、大学の現況や夢をかなえるセンターの取り組みに関する報告についてはオンライン（動画配信）で行うというハイブリッド形式で開催しました。

学科毎の懇談会及び教育個別面談

2022年6月11日（土）相模女子大学7号館及び11号館にて開催し、143名の会員の皆様にご参加いただきました。

プログラム

①学科毎の懇談会

学科毎の教室で、各学科におけるコロナ禍での授業支援等について、学科長が説明を行いました。

②教育個別面談

個別ブースにおいて、主にクラス担任の教員と学習・就学状況等に関する面談を行いました。



教育個別面談の様子

参加者の声

- 「普段なかなか知り得ない情報を得ることができました。わかり易い説明、ありがとうございました。個別面談では、抱えている少しの不安や小さな疑問を解消することが出来ました。」
- 「個別相談で知りたい情報を得ることができるので、とても参考になりました。」
- 「一人暮らしの為、国家試験や成績について心配な事が多いので、参加して良かったと思います。担任の先生とも話せて良かったです。」
- 「昨年と比較して、懇談会、教育個別相談共にとても充実した内容で、日頃の疑問や不安が大分解消されました。娘の様子を事前に担当の先生に伺っていただいていた嬉しく思いました。本日はありがとうございました。」
- 「懇談会で日常の学校生活の紹介をPowerPOINTで紹介されていた。公開できる範囲で良いので、PDFデータを配布して貰えたらと思います。」
- 「コロナが多少落ち着いてきたので、今回初めて参加いたしました。娘が入学した時からコロナ禍（入学式中止となりました）で大学の行事に直接参加したことがなく、どのような様子なのかと思っていました。学科懇談会・教育個別面談ともとても貴重な機会ですので、これからも続けてほしいと思います。」

教育懇談会オンライン

相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育内容に関する報告を配信中です。

動画配信期間

2022年6月28日（火）～2023年6月28日（水）

動画をまだご覧いただいていない会員の皆様、また、学生の皆様もぜひご視聴ください。

動画視聴方法

郵送にてご案内しております「開催のご案内」に記載のURLより「教育懇談会オンラインへ」のトップページを表示し、視聴者情報登録を行った上でご視聴ください。

URLがご不明の方は後援会事務局までお問い合わせください。
 後援会事務局 連絡先 042-747-9067

Mail: kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp

開室時間 10:00～18:00（月・水・金）

配信内容

- (1) 相模女子大学・相模女子大学短期大学部の現況について
- (2) 相模女子大学の社会貢献活動について
- (3) 「丸山千枚田魅力発信プロジェクト」
「もとみやSMILEプロジェクト」参加学生による報告



学生報告の撮影の様子

定期総会（書面審議）の開催報告

後援会では、以前は、対面形式による総会を6月に開催していましたが、コロナ禍を機に、昨年度の総会（書面形式として初開催）において、書面形式による開催方法を継続することが決定しました。今年度の開催ではホームページ上で、「総会資料の閲覧」を行っていただき、「各議事に対する表決の意思表示」については「電子表決」にて実施しました。会員の皆様には書面審議及び電子表決にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

2022年度定期総会議決結果

2022年5月18日(水)～6月5日(日)の期間に、電子表決で回答をいただきました結果について、次のとおり報告いたします。

各議案に対する電子表決結果

議案	賛成	反対
(1) 2021年度 事業報告の件	318	0
(2) 2021年度 収支決算報告及び監査報告の件	318	0
(3) 2022年度 役員選出(案)の件	317	0
(4) 2022年度 事業計画(案)の件	317	0
(5) 2022年度 収支予算(案)の件	318	0
(6) 2022年度 後援会会議・行事日程(案)の件	317	1

※全ての議案の「賛成」には「委任状提出分(53件)」を含んでいます。

ご意見等について

多くの皆様よりご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。大学・短期大学部に対するご意見等につきましては、大学・短期大学部に報告いたしました。後援会の事業・予算に対するご意見等につきましては、今後の運営に活かして参りたいと存じますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2021年度 事業報告

会議等の開催 定期総会

コロナ禍により、書面審議という形で会員参加による定期総会を開催した。2021年5月24日(月)より全ての会員に会議資料及び書面表決書(返信ハガキ)を送付し、6月4日(金)に後援会事務局必着として書面表決を行った。

役員会等

- 2020年度会計監査 2021年4月24日(土) マーガレット本館会議室1
- 2021年度常任理事会 2021年8月2日(月)～8月22日(日) 書面形式にて開催
- 2021年度理事会 2021年8月22日(日)～9月3日(金) 書面形式にて開催
- 2021年度常任理事会 2021年10月8日(金)～10月19日(火) 書面形式にて開催
- 2021年度理事会 2021年10月20日(水)～11月2日(火) 書面形式にて開催
- 2021年度常任理事会・理事会 2022年2月12日(土) ZoomによるWEBミーティングにて開催
- 2021年度常任理事会・理事会 2022年4月23日(土) マーガレット本館会議室1・2

教育懇談会

開催日:2021年6月12日(土)
場所:7号館各教室

教育懇談会オンライン

動画配信期間:2021年6月21日(月)～10月20日(水)

就職懇談会オンライン

動画配信期間:2021年10月29日(金)～2022年1月31日(月)

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

- 教育研究活動の充実を図る。電子書籍の購入及び、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を継続した。
- 学生の福利厚生への充実を図る。62件のクラス会の経費の一部を助成した。卒業生記念品として、校章入りの袱紗を贈った。コロナ禍により中止となった卒業記念パーティに代わり、卒業生全員に紅茶の詰合せを贈った。
- 学生の課外活動の充実と活性化を図る。6団体のクラブに対し、必要な用品の購入経費の一部を助

- 成した。
- 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。課外活動の分野で顕著な活躍をした個人3名と団体5件が課外活動奨励賞を受けたことに対して、後援会より副賞を授与した。
- 学生の就職活動を支援する。就職に関する各種講座やイベント(Zoomを活用した就職セミナー、SPI模擬試験・試験解説講座、保護者版就職ガイドブック等)の経費の一部を助成した。

学習支援助成費

- ラーニングコモンズにおける貸出PC用消耗品、企画講座および外部講師謝礼、学習支援スタッフの拡充に関する経費の一部を助成した。
- 附属図書館グループ学習室の什器の更新を行った。

地域連携助成費

大船渡及び浅草寺における活動経費の一部と、オンラインによる正課外活動に使用するためのiPadと附属品の購入費を助成した。

刊行物について

2021年9月に会報53号、2022年3月に会報54号を刊行し、会員及び関係者に配付した。

災害対策助成について

地震等の災害に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災セット」を1,000セット購入した。

弔慰

会員のご不幸は大学7名。会則に則り弔意を表した。

その他

- 予備費(新型コロナ対策支援経費)より、サーキュレーター25台と空気清浄機5台を購入し、換気強化が必要な教室等に設置した。また、新型コロナワクチン大学拠点接種の支援を行った(1回目:1,379名、2回目:1,371名)。
- トイレ快適化と環境改善のため、自動水栓の取り付け、消毒ディスペンサー、棚付きトイレトーパーホルダーの取り付け、ペーパータオルごみ箱、ペダルサンタリーボックス、ティッシュボックスを設置した。
- 学習スペースの改善のため、ラーニングコモンズに個室(半個室)ブースを設置した。また、学習スペースに複合機を設置した。

相模女子大学 後援会 2021年度収支決算書

2021年4月1日から
2022年3月31日まで

収入決算額 57,526,508円
支出決算額 49,998,177円
7,528,331円 (次年度へ繰越)

事務費

主に役員会、総会、各種懇談会等の運営費用となります。事務費の多くは配付資料の印刷費、会議の案内や会報を送付する際の通信費に充てられています。

就職対策助成費

学生の就職活動を支援するため、各種講座・試験の受講費補助や、講師謝礼、就職関連図書等の購入等を行っています。

教育懇談会経費・就職懇談会経費

動画撮影および配信の費用を計上しています。

学習支援助成費

クラブ活動、地域活動(訪問型)等が十分に実施できなかったため生じた執行残を有効活用するため、学習スペースの改善やトイレ環境改善等の追加執行を行いました。

災害対策助成費

地震等の災害時に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災セット」を1,000セット購入しました。

【収入の部】

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.会費	40,150,000	39,390,000	760,000
2.寄附金	0	0	0
3.雑収入	95	147	△ 52
4.前年度繰越金	18,136,361	18,136,361	0
合計	58,286,456	57,526,508	759,948

※本年度会費 大学 3,724名×10,000円 = 37,240,000円
短期大学部 215名×10,000円 = 2,150,000円

【支出の部】

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.事務費	7,212,008	4,542,531	2,669,477
(1)印刷製本費	430,000	233,737	196,263
(2)消耗品費	30,000	17,531	12,469
(3)通信費	2,832,008	2,329,343	502,665
(4)弔慰費	400,000	136,500	263,500
(5)旅費交通費	150,000	2,620	147,380
(6)渉外費	20,000	0	20,000
(7)雑費	10,000	0	10,000
(8)業務委託費	70,000	39,000	31,000
(9)業務委託費	3,270,000	1,783,800	1,486,200
2.事業費	30,580,937	23,284,677	7,296,260
(1)学生関係費	24,873,553	17,867,702	7,005,851
①課外活動助成費	2,750,000	735,574	2,014,426
②福利厚生助成費	6,680,000	4,298,103	2,381,897
③学生指導助成費	10,000	0	10,000
④就職対策助成費	15,433,553	12,834,025	2,599,528
(2)行事費	2,100,000	1,911,080	188,920
①大学祭等助成費	800,000	800,000	0
②卒業記念パーティ助成費	1,300,000	1,111,080	188,920
(3)文化費	3,607,384	3,505,895	101,489
①会報発行費	1,182,000	1,158,000	24,000
②講演会等経費	20,000	0	20,000
③教育懇談会経費	820,000	770,220	49,780
④就職懇談会経費	880,000	880,000	0
⑤図書購入助成費	705,384	697,675	7,709
3.会議費	210,000	12,183	197,817
(1)総会費	0	0	0
(2)役員会費	200,000	12,000	188,000
(3)部会費	10,000	183	9,817
4.学習支援助成費	4,294,700	11,900,194	△ 7,605,494
5.災害対策助成費	1,738,000	1,738,000	0
6.地域連携助成費	5,000,000	739,654	4,260,346
7.国際教育助成費	1,000,000	160,000	840,000
8.予備費	8,250,811	7,620,938	629,873
合計	58,286,456	49,998,177	8,288,279

監査報告書

私たちは、2021年度後援会収支決算書を監査の結果、その適正であることを認めます。

監事 丸川 真一 ㊟

監事 塚本 早苗 ㊟

監査実施日 2022年4月23日

予備費

新型コロナ対策支援経費と位置づけ、新型コロナワクチン大学拠点接種の支援を行いました。また、換気強化を行う必要がある教室や保健センターにサーキュレーターを設置しました。



通信費の内訳

役員会等の通知(12,052円)
総会・教育懇談会案内(1,196,240円)
就職懇談会案内(445,920円)
会報送料(675,131円)

課外活動助成費の内訳

サークル活動補助(421,686円)
課外活動奨励賞(313,888円)

福利厚生助成費の内訳

クラス会補助(1,027,385円)
卒業生記念品(3,256,660円)
防災用品配布用袋(14,058円)

卒業記念パーティー助成費

コロナ禍により卒業パーティーが中止となったため、卒業生全員に紅茶の詰合せを配付しました。

地域連携助成費

コロナ禍により、オンライン中心の活動となったため、iPad等を購入しました。地域への訪問はほとんどが中止となり、多くの残金が生じました。

2022年度収支予算書

2022年4月1日から
2023年3月31日まで

収入予算額 47,028,391円
支出予算額 47,028,391円

【収入の部】 (単位：円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.会費	39,500,000	40,150,000	△ 650,000
2.寄附金	0	0	0
3.雑収入	60	95	△ 35
4.前年度繰越金	7,528,331	18,136,361	△ 10,608,030
合計	47,028,391	58,286,456	△ 11,258,065

※本年度会費 大学・短大 3,950名×10,000円 = 39,500,000円
【内訳】 大学 3,786名、短大 164名 (2022年4月1日時点)

【支出の部】

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(△)(A-B)
1.事務費	4,798,326	7,212,008	△ 2,413,682
(1) 印刷製本費	230,000	430,000	△ 200,000
(2) 消耗品費	30,000	30,000	0
(3) 通信費	1,216,326	2,832,008	△ 1,615,682
(4) 弔慰費	300,000	400,000	△ 100,000
(5) 旅費交通費	150,000	150,000	0
(6) 渉外費	20,000	20,000	0
(7) 雑費	10,000	10,000	0
(8) 業務費	70,000	70,000	0
(9) 業務委託費	2,772,000	3,270,000	△ 498,000
2.事業費	29,601,397	30,580,937	△ 979,540
(1) 学生関係費	23,071,533	24,873,553	△ 1,802,020
① 課外活動助成費	2,600,000	2,750,000	△ 150,000
② 福利厚生助成費	6,580,780	6,680,000	△ 99,220
③ 学生指導助成費	10,000	10,000	0
④ 就職対策助成費	13,880,753	15,433,553	△ 1,552,800
(2) 行事費	2,300,000	2,100,000	200,000
① 大学祭等助成費	800,000	800,000	0
② 卒業記念パーティ助成費	1,500,000	1,300,000	200,000
(3) 文化費	4,229,864	3,607,384	622,480
① 会報発行費	605,000	1,182,000	△ 577,000
② 講演会等経費	20,000	20,000	0
③ 教育懇談会経費	720,000	820,000	△ 100,000
④ 就職懇談会経費	1,270,000	880,000	390,000
⑤ 図書購入助成費	1,614,864	705,384	909,480
3.会議費	110,000	210,000	△ 100,000
(1) 総会費	0	0	0
(2) 役員会費	100,000	200,000	△ 100,000
(3) 部会費	10,000	10,000	0
4.学習支援助成費	2,251,500	4,294,700	△ 2,043,200
5.災害対策助成費	1,870,000	1,738,000	132,000
6.地域連携助成費	3,000,000	5,000,000	△ 2,000,000
7.国際教育助成費	1,000,000	1,000,000	0
8.予備費	4,397,168	8,250,811	△ 3,853,643
合計	47,028,391	58,286,456	△ 11,258,065

★1 印刷製本費

総会の表決や各懇談会の出欠等をWEBで行うことにより、返信用はがき印刷の費用を0円とし、総会・役員会資料の印刷費についても、紙の使用の印刷機会が少なくなっていることから減額となりました。

★2 通信費

これまで紙で発行していた後援会会報は電子発行にするため会報の送料を0円としました(2022年3月発行会報は新入生保証人に発送するため、送料を計上)。

★3 就職対策助成費

「オンライン合同企業説明会」経費について、学生からの要望をもとに、オンデマンド配信から企業の担当者に直接質問等ができるライブ配信をメインとする対応へと変更したことから、オンデマンド配信の業務委託料を減額しました。なお、キャリアカウンセラーの拡充は、2021年度のみ措置の予定でしたが、長引くコロナ禍で引き続き手厚い支援が必要であるため、2022年度も同額を計上しています。

★4 大学祭等助成費

プロコンサート及びスタッフユニフォームの経費を計上しました。

★5 教育懇談会経費

昨年度同様、対面とオンラインの併用で開催することに伴い、動画撮影費等の経費を計上しました。

★6 就職懇談会経費

昨年度同様、オンラインで開催することに伴い、講師謝礼および動画撮影費等を計上しました。

★7 図書購入助成費

図書購入費に加え、電子書籍閲覧システムのライセンス料の支払いを計上しました。

★8 学習支援助成費

昨年度に続き、さらなる学習環境の整備として、個別ブース設置等の検討に伴い、経費を計上しました。

★9 災害対策助成費

防災セット(1,000セット)の価格改定に伴い、昨年度より増額の計上となりました。

★10 予備費

今年度も新型コロナウイルス感染症流行に伴う学生への支援経費とし、状況に応じた柔軟な対応のための経費と位置づけ執行いたします。

2022年度事業計画

コロナ禍による社会情勢の大きな変化は、学生たちの学びや生活に大きな影響を及ぼしているため、後援会は、以下の通り、引き続き大学の教育研究活動、学生の福利厚生、課外活動等を最大限に支援する。

会議等

- 常任理事会及び理事会を必要に応じて開催し、重要事項を審議する。
- 定期総会を1回開催する。／書面形式・電子表決での開催
- 教育懇談会を開催する。／ハイブリッド形式(オンデマンド講演+対面形式の懇談会等)での開催(6月)
- 相生祭に参加する。
- 就職に関する懇談会を開催する。／リモート形式での開催(10月)
- その他
※今後の感染状況により計画変更となる可能性があるため、各行事の実施の可否や開催方式については、随時、常任理事会又は理事会において決定する。

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

- 教育研究活動の充実を図る。
- 学生の福利厚生の充実を図る。
- 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
- 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
- 相生祭等、学生の自主的活動を援助する。
- 学生の就職活動を支援する。
- 学生の地域連携活動を援助する。
- その他

会員への情報発信

- 会報(年2回 9月・3月)
後援会ホームページにPDFを掲載する。
- 後援会ホームページの運用
後援会新着情報・インフォメーションの発信、後援会が援助した学生活動等を紹介する。

弔慰

学生、学生の父母または保証人の死亡に対して弔慰金を支給する。

大学だより

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英

自然とのつながり、人とのつながり

平素相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育と運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度は3年ぶりに対面授業を全面的に展開する形で春学期を開始いたしました。この間、コロナ禍に対する安全確保のため、オンライン授業を主にせざるを得ませんでしたが、徐々にキャンパスに多くの学生が集っての学年の開始となりました。大学・短期大学部らしい活気がよみがえった思いですが、7月下旬現在、新型コロナウイルス感染症が再び急速に拡大しつつあります。今後も本学内外の感染状況と、国や神奈川県への対応指針を勘案しながら、学生の安全を守ることを第一として運営して参りたいと存じますので、どうぞご理解ご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

この2年間はコロナ禍によって直接の現地訪問が難しくなっていた本学の地域連携活動も、状況を見ながら徐々に再開しているところで、詳しくは連携教育推進課からの報告記事をご覧ください。幸いと存じますが、そのうち、5月末に行なわれた福島県本宮市への学生と職

員の訪問には私も参加しました。幸い好天に恵まれ、学生たちは農家の方々にご指導いただきながら、田植え活動や畑作業を行いました。本宮市の高松市長もご参加くださり、私も市長と一緒に田植えをさせていただきました。参加した学生たちにとっても、農作業体験や地域の方々との交流を通して、ふだんの生活では意識しにくい自然とのつながり、人とのつながりを実感として感じ取り、環境についてあらためて考えるよい機会になったと思います。これからも、多くの学生たちが地域連携活動に参加してくれることを期待しております。

もちろん、地域連携・社会貢献とともに、本学の教育にとって一番の基本となるのが日常の授業であることは申すまでもありません。その充実と、学生の安全・安心をめざしてさらに努力して参りますので、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、何とぞよろしく申し上げます。



日本語日本文学科 学科長 宮原 志津子

コロナ禍での大学教育での変化の一つにオンライン教育の発展がありますが、教育用スマートフォン・アプリも新たに導入されており、その一つにrespon(レスポ)というアプリがあります。日本語日本文学科は、質問やコメントを人前で述べることを苦手とする学生が多いと言われます。しかし彼女たちが何も考えていない訳ではなく、文章で述べるのが得意な学生が多いのです。そこでresponを使うと、瞬時にすべての意見が共有できます。発表での質疑応答が活性化するだけでなく、学生たちには同級生が実は色んなことを考えていたのだという、新たな発見にもつながったようです。多様な価値観や意見に触れることで、大学の学びはさらに豊かになります。これはコロナ禍の副産物と言えるでしょう。後援会の皆様には今後共にご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



英語文化コミュニケーション学科 学科長 九里 徳泰

本年度は、4年前にカリキュラム改定をした学生の卒業年となります。10日以上インターンシップ・ボランティアまたは海外語学研修等を必修化した第一世代です。コロナ禍のため海外研修はかないませんが、国内の活動は感染対策をして実施しました。また海外渡航ができないため、海外講師とのオンライン英会話を1~3年次全員実施としました。国内での英語学習で英語検定TOEICの高得点者が多く出ています。再開した「神奈川産学チャレンジプログラム」では、2つのゼミで優秀賞を受賞しました。DX(学科のデジタル対応)にも取り組み、ゼミナールへ「メタバース(インターネット上の仮想空間)」を導入し、すべての学生が参加する体制を構築し、運用を開始しています。活動的で英語運用能力とコミュニケーション能力を持った本学科の学生の就職率は今年も100%となりました。今後とも益々社会に貢献できるよう英文科を発展させていく所存です。



子ども教育学科 学科長 池田 仁人

会員の皆さまにおかれましては、平素より多大なご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで令和3年度末にも、多くの学生が教育・保育のプロとして、希望を胸にそれぞれの現場へと飛び立っていきました。また、彼女たちと入れ替わりに100名余の新入生を迎えることも出来たので、この場をお借り致しましてご報告申し上げます。



さて、新型コロナウイルス感染症もなかなか沈静化の様子を見せません。不安な毎日が続いて、良くないことは確かに多いのですが、このような中だからこそ注目され、私たちが学生たちも勉強するチャンスとなったことでもございました。その1つにICTの活用があります。既に小学校では一人1台、タブレットを持って学習している時代です。本学科でもタブレットや電子黒板、プログラミングロボットを始めとして、教育や保育に役立つアプリなどを積極的に取り入れ、実践の場に立った際に活かせるよう、指導をしているところです。専任教員の中にも、メディアの現場で活躍されてきた先生、教育の現場でICT機器の活用実践を重ねてきた先生がいらっしゃいます。そのような先生方を先導役として、これから子どもたちのためになることを研究していきたいと考えております。今後ともご支援賜りますよう、よろしく申し上げます。

生活デザイン学科 学科長 桑原 茂

生活デザイン学科では新しいカリキュラムによる授業を展開しており、一環として本年度から、実社会で活躍するデザイナー・起業家による「レクチャーシリーズ」と称した講演会を年4回開催し始めました。既にアートディレクターの「えぐちりか」氏、建築家の「大島芳彦」氏による2講演が行われ、秋学期にはイラストレーターの「さくしゃ2」氏、山のスタイリスト「岡部文彦」氏の2講演が予定されています。様々な活動を展開されている方に登壇して頂き、学生が新鮮な視座から将来像を見据えられる機会との位置付けです。2050年には現存しない職業が7割を占めるとの予測もありますが、VUCA(予測不能な社会)が加速する昨今、学生自らが「自分らしい働き方」を開拓していくのに役立てて欲しいと考えています。学園関係者は視聴可能ですので、是非ともご参加ください。



メディア情報学科 学科長 岩下 朋世

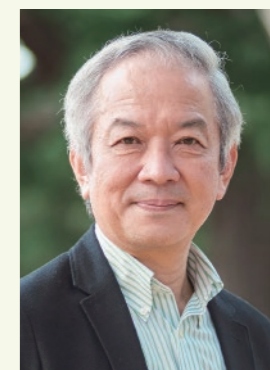
平素よりのご支援、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ続きますが、本春学期からは対面での授業実施が本格的に再開となりました。この2年間のオンライン授業は我々教員にとっても大きな経験となりました。まだ日常を回復したとはいえ、油断できない状況が続きますが、オンライン授業で培われたノウハウを対面での授業実施にも生かし、より柔軟な仕方学生ときめこまやかなコミュニケーションをとりながら、豊かな大学生活を提供していきたいと考えています。



2020年度から始まったメディア情報学科の新たなカリキュラムも本年度で3年目を迎えました。各種のメディアに関わる展示施設やアーカイブも増えつつある状況を受け、博物館等での職員に必要な学芸員資格、図書館で働くための司書資格も取得可能なものです。メディアに囲まれた現代そして将来の社会を生きる上で役立てることのできる学びを提供するために、これからも努力していく所存です。今後ともよろしく申し上げます。

社会マネジメント学科 学科長 井坂 聡

地域や人との関わりや、コミュニケーションを重視した実践的授業を、学生と教員と一緒に積み重ねていくのが、社会マネジメント学科の特色です。コロナ禍でその特色は様々な制約を受けてきましたが、今年度は原則全ての授業を対面で行うことを決定し、新学期をスタートさせました。中々思い描いていたようなキャンパスライフを送ることが出来なかった2~4年生からは、友だちと同じ教室で学び語らう嬉しさがひしひしと伝わってきます。一方、オンライン授業にも柔軟に対応できるよう、新入生には今年も入学時にノートパソコンを一括購入して配付、最初の授業でパソコンの基礎的な使い方を指導いたしました。



実践的授業の積み重ねは、自然と教員と学生との距離を近づけてくれます。文字通り顔の見える形で学生一人ひとりに寄り添い、学科教員一同で成長を見守ってまいります。

人間心理学科 学科長 芝田 征司

2018年からスタートした公認心理師対応カリキュラムが完成年度を迎え、このカリキュラム生の心理実習がいよいよ今年度からスタートしました。新型コロナウイルス感染症の影響が心配されるどころですが、現在までのところ大きな問題はなく、学生たちは各所での実習に励んでいます。コロナ禍に加え、このところは不安な出来事が世界中で立て続けに起きていますが、このような時代ではなおさら、多様な価値観を受け入れ、理解しようとする姿勢が重要になるでしょう。人間心理学科では、「社会福祉士」と「公認心理師」という2つの国家資格を抱えつつも、決して資格偏重になることなく、心理学、社会福祉学、哲学・倫理学や文化人類学など、幅広い視点からの人間理解を目指した教育を行っています。後援会の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



健康栄養学科 学科長 榎本 ヒカル

健康栄養学科では、『人の健康に食分野から幅広くアプローチ』をテーマに、『食・栄養・健康』に関連する講義や実験実習を通して、社会で活躍する人材の育成を目指しています。今年度は新たに実験実習助手として、布施木悠理先生が学科に加わりました。



今学期の健康栄養学科では多くの授業が対面で実施されていますが、この2年間の経験を踏まえ対面とオンラインとのハイブリッド型で実施されている授業もございます。学生はもとより教員も、2年前から比べると格段の“デジタルリテラシー”を身につけたのは、コロナ禍によるけがの功名と言えるかもしれません。今後も感染症リスクと対面授業の利点のバランスを考慮しながら、よりよい教育活動を実施したいと考えております。後援会の皆様には引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大学院栄養科学研究科 研究科長 黒岡 尚徳

栄養科学研究科では、健康栄養学科と管理栄養学科に所属する20名の教員が、各専門分野で最先端の授業を担当しています。この3月には、博士前期課程3名の大学院生が無事修了し、現在、博士前期課程1名、後期課程1名が在籍しています。昨年度もコロナ禍のため、多くの授業がオンラインにより実施されましたが、社会人の割合が多い本学の大学院生は職場から大学への移動がなくなり、時間を有効に使うことができたようです。今後も社会人大学院生の増加が予想されることから、オンライン授業のメリットを取り入れていきたいと考えています。また、本研究科は、社会人のための特別入試制度や長期履修制度を設けており、社会で活躍されている方々に広く門戸を開放しています。後援会の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



大学院社会起業研究科 研究科長 金森 剛

専門職大学院「社会起業研究科」は3年目を迎えています。2年間でMBA-SE(社会起業修士)がとれる、男女共学の修士課程です。後援会の皆様も是非ご入学ください。社会的課題をビジネスの手法で解決する「ソーシャル・アントレプレナー」を育成しています。経営学の諸領域とコミュニティデザインやコミュニケーション技法を学びます。1期生は既に修了し、起業等活躍しています。今年度入学の院生は20代から60代までおり、初めて男性の割合が5割を超えました。独立起業するだけでなく、企業や自治体の中で事業開発を行う方も対象としています。平日夜間(オンライン)と土曜日昼間(一部オンライン)に開講、学費は国立大学並みです。入試はこの後10、12、2、3月です。



【社会起業研究科ホームページ】
<https://www.gsse-sagami.jp/>

管理栄養学科 学科長 樋川 直司

本年度の管理栄養学科は、教員2名、実験実習助手2名、国家試験対策パートタイマー1名、計5名の新任の方々をお迎えしております。ご自身の長を活かして学科の教育や運営に力を発揮していただけることと期待しております。さて、新型コロナウイルス感染症の流行後、ITを利用した授業の導入など、教育方法が変わりつつあります。文部科学省は、条件を満たせば一人の教員が複数の大学の専任教員となるのが可能になるよう大学基準を変えるように動いているようで、ますます授業のIT化が進むと予想されます。そうなるに教職員は当然として、学生さんたちもITやパソコンを理解し、扱えることが必要になります。現在、小学生からプログラミングを学習しており、デジタル化が進む社会で、それらの教育を受けた子達と教育が異なる今の学生さん達と差ができる可能性があります。これから、その差をどのように補うかが問題であると考えております。



食物栄養学科 学科長 笹田 周作

食物栄養学科は、2年間という修学機会を提供すると共に、いち早く社会で活躍できる栄養士の輩出に努めてまいりました。一方で、コロナ禍に入り本学科は学生募集という点で苦労している側面があります。今年4月に大学のお力添えを頂き、学科で学べる全分野の実験・実習を体験して頂ける「短大び体験会」を実施いたしました。来場した方々に楽しんで頂くと同時に、食物栄養学科の学びを理解して頂けたのではないかと思います。また、このイベントを行う事で、学科の何をアピールすべきか、すなわち学科が学生へ提供する学びの本質は何かを改めて見つめなおす機会となりました。引き続き、より良い学びを提供し、社会に貢献できる人材の輩出に努めてまいりますので、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



新任教員紹介

子ども教育学科 講師 成家 雅史

担当科目: 国語科指導法

4月に子ども教育学科に着任いたしました成家(なりや)と申します。小学校教員として、18年間、主に、国語科教育の授業実践及び授業研究に力を入れてきました。小学校教員は、授業を作り、人を育て、未来を創るというクリエイティブな職業です。ですから、自分自身も学び続け、「先生」として成長していく必要があります。私自身も学び続け、学生の皆さんが、「先生」になるという夢の実現に向けて全力でサポートしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



社会マネジメント学科 講師 土屋 みなみ

担当科目: 国際交流演習

2021年3月に山形大学大学院理工学研究科にて博士(工学)を取得し、同大学研究支援者・筑波大学非常勤講師・九里学園高等学校非常勤講師、その他出張講義数件等を1年兼任しておりました。アフリカと日本を文化的・人的交流によって繋ぎ、両者のポジティブな魅力を増大することを目的としたNPO法人AYINA(アイーナ)の立ち上げに学部生在籍時から携わり、現在も活動中です。サガジョでは学生さんと共に、毎日楽しく動き・学ばせていただいております。



社会マネジメント学科 講師 肥後 梨恵子

担当科目: 健康・スポーツ(共通教育)

4月に社会マネジメント学科に着任いたしました。健康・スポーツ、疫学、地域福祉、ボランティアを専門領域としております。神奈川県の外郭団体で健康増進、疾病予防、人材育成事業に従事し、その後実務研究者となりました。本学では、学生が社会で自分なりの役割を見つけ輝くための教養教育、人間力や応用力を深化できる授業や地域連携を行っていきたく考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



管理栄養学科 教授 落合 裕隆

担当科目: 公衆衛生学・保健統計学実習



4月に管理栄養学科に着任いたしました落合と申します。主に、公衆衛生学・保健統計学実習を担当しております。公衆衛生学は人々の健康の保持増進と疾病予防に関する科目であり、保健統計学は医療・学校・行政等の現場における現状把握・課題抽出・課題解決に役立つ科目です。私は、公衆衛生学・保健統計学等の授業・実習を通じて、人々の健康に貢献できる管理栄養士を育成していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

管理栄養学科 講師 松永 裕美子

担当科目: 高齢者臨床栄養学・食事療法実習ほか



4月に管理栄養学科に着任し、主な担当は高齢者臨床栄養学・食事療法実習ほかです。本学を20数年前に卒業し、また教員として戻ることができ、大変光栄です。卒業後は、認知症専門病院で栄養科責任者、栄養サポートチームチーフディレクターとして勤務しながら、グループ全体の栄養科職員教育に携わっておりました。本学の思いやりを持った学生達が、人に寄り添える温かい管理栄養士となれるよう、臨床栄養管理のやりがいを伝え興味を刺激しつつ、就職後のギャップが少なくなるよう関わりたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

食物栄養学科 特任教授 安達 修一

担当科目: 食品衛生学ほか



今年度、特任教員として授業を担当しております。栄養士、管理栄養士養成課程での教育経験で貢献できたら幸いです。この2年間は、新型コロナウイルス感染症への対策として、リモート授業を続けざるを得ませんでした。とくに2020年7月頃は、明確な予防手段がないため大変な緊張でした。この4月からは、手探りの部分はありますが大学での予防対策のもと安心して対面授業を続けられ、学生の反応を見ながらできる手応えを感じています。

食物栄養学科 特任教授 丹尾 式希

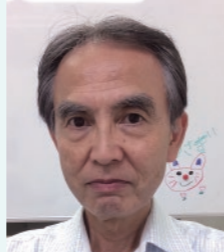
担当科目: 食品学総論・各論



4月に食物栄養学科に着任いたしました丹尾(にお)と申します。これまで、食品企業の研究所、大学や栄養士・管理栄養士養成校(非常勤講師)などに勤務しておりました。今回、食品学に関連した科目を担当することになりました。豊かで健康的な食生活を送るにあたって、食品成分がどのような働きを持ち、どのように役立っているかを、実務経験を踏まえてわかりやすく伝えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

食物栄養学科 特任教授 堀江 修一

担当科目: 生化学



薬大、総合大、栄養大の3大学でほぼ15年間ずつ、教員として各大学の個性を感じながら、学生さんたちと接してきました。学部や学科による教育方針の違いはありますが、入学生は誰もが自分の進む道を探すために、また目指す職業への資格を獲得するために、夢と希望を抱いて学び舎の門をくぐってきたはずで、若い皆さんの前向きな思いに少しでも応えられるように、そして夢と自信を持てるように、講義と実習をしていきたいと思っております。

相生祭イベント実施について

今年度の相生祭では、後援会の活動に関する展示を行います。皆さまのご来場をお待ちしております。

実施日 11月3日(祝) 10:30~15:00

実施場所 7号館1階ラウンジ

会員の住所変更について

後援会よりお送りするご案内等は、学修・生活支援課に届け出ている保証人住所宛てに送付しています。保証人住所を変更される場合は、学生本人による手続きが必要です。詳しくは、学修・生活支援課へお問合せください。

問い合わせ先: 学修・生活支援課 042-813-5069

近況報告

学修・生活支援課の取り組みについて

後援会会員の皆様には、日頃よりご支援賜り、感謝申し上げます。

学修・生活支援課では、学生が意欲的に学ぶことができ、安心かつ充実した学生生活を送れるよう、様々な支援を行っております。コロナ禍においても、履修・資格免許や補完教育、奨学金、クラブ活動など、入学から卒業までを支える総合窓口としての役割を担っております。

特に、ラーニングコモンズ内にある学修相談デスクでは、英語・数学・理科の3分野を中心とした個別相談や、卒業研究・レポート作成に関するミニ講座等を実施し、多くの学生の利用がありました。また、後援会会員の皆さまのご支援により、快適な環境で集中して学修に取り組める個別ブースを設置することができました。

さらに、クラブ活動や大学祭においても、安全かつ充実した実施のため、ご支援を頂いております。中でも、3年ぶり



ラーニングコモンズ内の個別ブース

に対面開催を予定しております大学祭では、成果発表や交流の場として学生の想いが実現できるようサポートしてまいります。

今後とも学修・生活支援課をご支援賜りますようお願い申し上げます。

大学事務部学修・生活支援課長 石上 正也

附属図書館における学習支援状況について

後援会会員の皆様には日頃よりご支援を賜り、感謝申し上げます。

本年度より、対面による授業が増え、キャンパスに活気が戻っています。附属図書館にも、多くの学生が利用に訪れています。

昨年度、後援会から助成をいただき、学外から電子コンテンツに接続するシステムの維持、図書の購入、グループ学習室の什器更新、空気清浄機の設置をいたしました。

4月からは、グループ学習室3部屋は、授業利用ではゼミを中心に利用されています。写真は、3年生のゼミの様子です。グループに分かれ、ミーティングボードに出された意見を書き出しながら、活発な意見交換をしていました。「椅子と机

が可動式になったことで、グループワークがしやすくなった。グループごとに使用できるミーティングボードがあるので、快適



3年生のゼミの様子

に使えている」という声が寄せられました。

今後とも学生の学習支援に努めて参りますので、引き続きのご支援・ご協力を賜りますと幸いです。

大学事務部学術研究支援課長 古越 奈央

ウィズコロナ時代の新たな活動に向けて

後援会会員の皆様には日頃より学生の社会貢献活動や国際教育へのご支援を賜り感謝申し上げます。

この2年間はコロナ禍の影響により、学外における活動が軒並み中止となりましたが、2022年度は情勢を見計らいながら学内や自治体等における感染症防止対策に基づき、学外における活動を徐々に再開している所です。春学期は、岩手県大船渡市・福島県本宮市・三重県熊野市・新潟県佐渡市など、本学が連携協定を締結している地域を中心に、学生と引率教職員が現地を訪問いたしました。地域の方々には学生の訪問を心待ちにいただいていた様子で、2年ぶりの再会を喜び合いました。

未だ新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況で

はありますが、引き続き、学生の安全を最優先に、感染症予防対策を講じた訪問型活動を行いながら、並行して、コロナ禍で築いたオンラインによる取組みを行う「ウィズコロナ」時代の新たな活動の形を模索してまいります。



三重県熊野市における活動の様子

夢をかなえるセンター連携教育推進課長 会田 恵子

就職状況報告

後援会会員の皆様には日頃より就職支援に多大なるご支援を賜り感謝申し上げます。
 本学学生の就職状況および就職支援課の取り組みにつきましてご報告させていただきます。

〈2022年度卒業予定者の就職活動状況〉

大手就職サイトの一つである株式会社リクルートの調査によりますと、6月1日時点の大学生(大学院生除く)の就職内定率は、73.1%と6月選考解禁となった2017年卒以降最も高くなりました。

この数値をニュースなどで聞くと、ご息女が就職活動中である保証人の方は、焦りを感じてしまうことでしょうか。しかしながら、この就職サイトの数値はあくまでも参考値であり、そもそもこの調査の対象者となっている学生は、「リクルートに登録をしている人」で、なおかつ当該調査に回答をするような「就職活動に非常に積極的な人」です。このような学生たちが分母となった就職内定率です。そのため、就職サイトが公表する内定率というのは、常に高水準となってしまいう傾向にあるのです。

ですから、内定が1社もないからといって、必要以上に焦りを感じる必要はありません。まだまだ採用活動を継続している企業はたくさんありますし、追加募集を行う企業も出てくると予測されています。

学生たちが自分の希望する進路に進めるように、そして安心して就職活動に取り組めるように、就職支援課は今後も継続して一人ひとりに寄り添った支援をしてまいります。

〈2023年度卒業予定者の就職活動状況〉

大学3年生および短期大学部1年生の就職活動については、基本的に現行の日程と変更がないことが確認されています。つまり、2023年3月から採用情報の解禁、6月から選考が解禁されます。一方で独自のスケジュールで採用選考を行う企業・業界があるため、「3月会社説明会、6月選考開始」をスケジュールの目安としつつ、選考が本格的に始まるまでに進みたい業界・企業の選考スケジュールを確認しておくことが必要になります。

就職支援課では、大学3年生を対象に4月から、短期大学部1年生を対象に7月から「就職準備講座」を実施しています。この講座は、業界・職種に関わらず、就職活動を行うすべての学生に必要な内容となっています。これまでの出席率は毎回80%程度となっており、例年同様多くの学生が就職活動に意欲的に取り組んでいます。

一方、就職準備講座に出席すること自体が目的となり、主体的な参加ができていない学生も一部にみられることも事実です。参加しているだけ、なんとなく聞いているだけではなく、講座の内容を自分事として捉え、必要な知識やスキルをしっかりと身につけ、選考が解禁となると同時にスタートダッシュできるような態勢を整えてもらいたいと思います。

「就職懇談会オンライン」開催のお知らせ

今年度もオンライン(動画配信)にて開催します。

- 配信内容 (予定)**
- (1) 学長メッセージ
 - (2) 内定者獲得学生へのインタビュー(各学科1名の学生が出演予定)
 - (3) 編入学決定者へのインタビュー(1名の学生が出演予定)
 - (4) 外部講師の講演
 - (5) 就職支援課からの報告(就職状況・就職支援課の取り組み)等

配信時期 2022年10月28日～2023年10月27日

開催通知及び動画の閲覧方法は、保証人宛に郵送いたしますご案内をご確認ください。



2021年度進路決定状況

進路決定者数

	日文	英文	教育	メディア	デザイン	社会	心理	健康	管理	大学計	栄養	短大計
卒業生(A)	90	109	92	60	42	86	94	79	96	748	118	118
未登録	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
大学院	1	1	1	1	0	1	0	0	0	5	0	0
大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
編入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
専門学校・各種学校	1	4	0	0	0	0	4	0	0	9	6	6
研究生等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学(進路先確定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学(進路先未確定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
家事従事	3	10	2	4	7	8	3	3	0	40	5	5
未報告	15	7	0	5	3	0	8	3	5	46	3	3
その他	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3	0	0
計	20	23	4	10	10	9	17	7	5	105	22	22
就職希望												
未決定者	4	0	1	0	1	2	2	0	0	10	1	1
決定者(B)	66	86	86	50	31	75	75	72	91	632	95	95
計(C)	70	86	87	50	32	77	77	72	91	642	96	96
希望率(C/A)	77.8%	78.9%	94.6%	83.3%	76.2%	89.5%	81.9%	91.1%	94.8%	85.8%	81.4%	81.4%
決定率(B/C)	94.3%	100.0%	98.9%	100.0%	96.9%	97.4%	97.4%	100.0%	100.0%	98.4%	99.0%	99.0%

決定者の職種別内訳

	日文	英文	教育	メディア	デザイン	社会	心理	健康	管理	大学計	栄養	短大計
総合職	12	23	1	8	9	19	15	9	9	105	0	0
事務職	10	11	3	6	1	18	19	4	0	72	6	6
司書・図書館関連	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
営業職	7	13	1	3	2	8	2	1	1	38	2	2
販売職	1	5	4	7	10	6	7	5	0	45	5	5
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	45	12	57	75	75
管理栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	59	59	0	0
保育士	0	0	42	0	0	0	0	0	0	42	0	0
保育教諭	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
介護職・生活支援員	3	2	0	4	1	3	7	0	0	20	1	1
児童指導員	0	0	2	0	0	0	5	0	0	7	0	0
社会福祉士	0	0	0	0	0	1	5	0	0	6	0	0
看護師	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
教諭(幼稚園)	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12	0	0
教諭(小学校)	0	0	16	0	0	0	0	0	0	16	0	0
教諭(中学)	2	2	0	0	0	0	0	2	0	6	0	0
教諭(高校)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
教諭(その他学習塾など)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
教諭 小計	4	3	0	0	0	0	0	2	0	9	0	0
設計職	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0
製造職	2	0	0	1	1	1	1	0	0	6	0	0
サービス職	15	14	1	2	0	8	8	4	3	55	2	2
インストラクター	1	2	0	0	0	1	0	0	0	4	1	1
エステティシャン	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
警察・自衛隊	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
SE	5	5	0	17	0	8	3	1	3	42	0	0
プログラマー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
情報処理士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
webデザイナー	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
映像撮影者・AD・俳優	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0
編集・翻訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の専門職	1	1	0	0	2	0	0	0	0	4	0	0
その他の保険医療従事者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
建設・採掘職	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
経営者・代表職・社長(起業含む)	0	0	2	1	0	0	0	0	1	4	0	0
その他	1	4	0	0	0	1	1	0	3	10	1	1
合計	66	86	86	50	31	75	75	72	91	632	95	95



相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部

後援会会報 第55号

発行日/2022年9月29日 発行所/相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会

編集責任者/後援会事務局

住所/〒252-0383 相模原市南区文京2-1-1 電話/042-747-9067